



昭和医科大学歯学部だより

2026年2・3月号

通算第239号

卒業式および学位記伝達式が挙行されました

＜歯学部長 馬場 一美＞

令和7年度卒業式および学位記伝達式が3月17日(火)にパシフィコ横浜において挙行され、歯学部では93名の卒業生が新たな一步を踏み出しました。卒業式では、上條学長より、建学の精神「至誠一貫」に基づき、患者さんの声に耳を傾ける「聞く」、心に寄り添い伝える「伝える」、そして専門性をもって支える「守る」という3つの姿勢を大切にするよう力強いメッセージが贈られました。また、小口理事長からは、社会に貢献する医療人として、人々の幸せに寄与することこそが自身の成長と喜びにつながるとの祝辞が述べられました。学部ごとに隣接のアネックスホールで行われた学位記伝達式では、各人への学位記授与と特別表彰、記念品贈呈が行われました。本年度の卒業生は昭和医科大学として新たな歩みのもとで巣立つ最初の世代です。皆さんの今後のご活躍を心より祈念するとともに、ご卒業を心よりお祝い申し上げます。



- P.1 【卒業式および学位記伝達式が挙行されました】 歯学部長 馬場 一美教授
- P.2 【卒業式および学位記伝達式における学生表彰】 学生部長 野中 直子教授
【謝恩会が開催されました】 学生部長 野中 直子教授
- P.3 【第119回歯科医師国家試験結果】 D6チューター会議 弘中 祥司教授
【大学院春季修了式が挙行されました】 歯学研究科長 高見 正道教授
【一般選抜入試(I期), 大学入学共通テスト利用入試および一般選抜入試(II期)が実施されました】
入試常任委員 美島 健二教授
- P.4 【47年間、本当にお世話になりました】 歯科保存学講座総合診療歯科学部門 長谷川 篤司教授
【共用試験 CBT が実施されました】 CBT 委員長 鈴木 規元教授
【研究入門が実施されました】 口腔生化学講座 塚崎 雅之教授
- P.4 【研究紹介】 口腔外科学講座 大場 誠悟教授
【行事予定】 広報委員長 柴田 陽教授

卒業式および学位記伝達式における学生表彰

<学生部長 野中 直子>

令和7年度卒業式および学位記伝達式にて以下の学生が表彰されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。今後のご活躍をお祈りしております。

卒業式	上條賞	藏本 結美子	上條旗ヶ丘賞	杉本 秀光, 華岡 修大
	同窓会賞	鶴岡 藍, 古川 愛梨, 呉 悠		
学位記伝達式	教育委員長賞	坂井 笙乃	モリタ補綴学賞	小石 夏綺
	学生部長賞	土肥 幸暉	日本小児科学学会学部学生優秀賞	根間 大輔
	ICD アワード	呉 悠		

謝恩会が開催されました

<学生部長 野中 直子>

3月17日(火)18時より、帝国ホテルにおいて昭和医科大学歯学部44回生による謝恩会が開催されました。小口勝司理事長、上條由美学長をはじめ多くのご来賓の先生方にご臨席いただき、心温まるご祝辞を賜りました。祝宴には歯学部の教員も多数出席し、卒業生や保護者の皆さまとともに、温かな雰囲気の中で学生生活を振り返りながら、門出を祝うひとときを共有いたしました。また、教員一人ひとりに卒業生から花束が贈呈され、立派に成長された皆さんの晴れやかな表情を拝見し、胸がいっぱいになる思いでした。

謝恩会委員長の星野凜さんをはじめ、企画・運営に尽力された卒業生の皆さん、本当にお疲れさまでした。皆さんの今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



第119回歯科医師国家試験結果

<D6チューター会議 弘中 祥司>

3月16日に第119回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全体の合格者数は1757名(合格率61.9%)で過去に例を見ない程減少しました。本学の新卒合格率は94.6%、既卒生を含めた全体合格率は90.0%であり、全国歯科大学では3番目(私立歯科大3番目)と健闘してくれました。今回は削除問題がかなり多く、難解な問題も多く、結果が出るまで安心出来ない学生さんも多かったと思います。この結果は6年生皆さんの弛まぬ努力の成果です。そして講義や学修を指導して頂いた多くの教員ならびに学務課など関係者皆様のご尽力の賜物でございます。来年は出題基準も変わります。皆様方に感謝を申し上げるとともに、今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

大学院春季修了式が挙行されました

＜歯学研究科長 高見 正道＞

令和8年3月24日午後4時より、昭和医科大学上條記念館において令和7年度大学院春季修了式が挙行され、多くの保護者や大学関係者が見守る中、医学研究科28名、歯学研究科22名、薬学研究科15名の修了者に博士の学位が、保健医療学研究科16名の修了者に修士、2名の修了者に博士の学位が授与されました。



上條学長の告辞と小口理事長の祝辞に続き、各研究科長の代表として歯学研究科長の私から、「これから、医療の世界でリーダーとなる皆さんに2つの助言を差し上げたい。1つは部下や同僚を大切にすること、もう1つは、困難に直面した時、捨て身になって打開することです。皆さんが立派なリーダーとして活躍されることを期待しています」と述べました。昭和医科大学宣言と校歌斉唱の後、各修了者に研究科長から学位記が手渡され、記念撮影をおこないました。博士(歯学)を授与された皆様、本当におめでとうございます。

1つは部下や同僚を大切にすること、もう1つは、困難に直面した時、捨て身になって打開することです。皆さんが立派なリーダーとして活躍されることを期待しています」と述べました。昭和医科大学宣言と校歌斉唱の後、各修了者に研究科長から学位記が手渡され、記念撮影をおこないました。博士(歯学)を授与された皆様、本当におめでとうございます。

一般選抜入試(I期)、大学入学共通テスト利用入試 および一般選抜入試(II期)が実施されました

＜入試常任委員 美島 健二＞

一般選抜入試(I期)と大学入学共通テスト利用入試が、令和8年2月5日(木)に、一般選抜入試(II期)が3月8日(日)に、それぞれ実施されました。

一般選抜入試(I期)の志願者数は401名(男子208名、女子193名)で、昨年度の385名よりも増加しました。また、大学入学共通テスト利用入試の志願者数は、163名(男子81名、女子82名)で、こちらも昨年度の158名よりも、若干ですが増加しました。その後、2月10日(火)に合格発表がなされました。

一方、一般選抜入試(II期)の志願者数は134名(男子57名、女子77名)で、昨年度の84名より大幅に増加しました。その後、令和8年3月10日(火)に合格発表がなされました。

このように、I期、大学入学共通テスト利用、およびII期ともに志願者数の増加がみられ、多くの受験生が本学への入学を希望され、大変喜ばしい結果となりました。

入試業務に関わられた皆様に、厚く御礼申し上げます。来年度も引き続き、より多くの受験生の方々に、本学を受験して頂けるようお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。



47年間、本当にお世話になりました

＜歯科保存学講座 総合診療歯科学部門 長谷川 篤司＞

学生時代から教職員へと47年間にわたって昭和医科大学歯学部にお世話になりました。保存修復時代は治療の重要性と楽しさ、研究の奥深さを学ばせていただきました。総合診療歯科時代は歯学部の教育改革に参画して、診療参加型臨床実習の充実、特にチェックリスト型電子ポートフォリオを中心として到達目標、実施方略、成果評価を一体化した実習システムの確立、に寄与させていただきました。この経験は学外での歯科医学モデルコアカリキュラム改訂や共用試験機構 OSCE 学評改訂にも繋がりました。

最後に47年間にわたり私を涵養していただいた昭和医科大学のすべての職員の皆様に深く感謝し、御礼の言葉とさせていただきます。



共用試験 CBT が実施されました

＜CBT 委員長 鈴木 規元＞

1月28日(水)に令和7年度共用試験CBTが実施されました。インフルエンザの流行が心配されましたが、幸い体調不良による欠席者はなく、4年生98名が無事受験いたしました。学生は馬場歯学部長と船津教育委員長の激励を受けたのち、旗の台校舎4号館600号教室にて、朝9時から午後5時過ぎまで全320問の問題に取り組みました。終始緊張の面持ちでしたが、大きな混乱もなく無事試験を終了することができました。機構派遣監督者の先生方からは、運営状況、感染症対策、学生の受験態度など良好とのコメントをいただきました。試験監督をはじめ、CBT実施にあたりご協力いただいた先生方、学務課の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

研究入門が実施されました

＜口腔生化学講座 塚崎 雅之＞

3月9日(月)から3月18日(水)にかけて、基礎系講座において選択科目「研究入門」が実施されました。「研究入門」は、専門性の高い研究に直接触れることで、歯科医学が科学的根拠に基づいて構築されていることを理解し、研究の魅力や奥深さを学生に実感してもらうことを目的としています。最終日には研究報告会(口頭発表:発表6分、質疑応答4分)が行われ、参加学生に加えて基礎系講座の教員および大学院生も交え、活発な討論が展開されました。今年度は2年生5名、3年生5名の計10名が単位を取得しました。今回の実習が、単なる知識の習得にとどまらず、未知の課題に挑戦し、自らの探究心を刺激することで、研究の面白さを感じる契機となることを期待しています。

研究紹介

～口腔外科学講座～

＜口腔外科学講座 大場 誠悟＞

口腔外科学講座は顎顔面口腔外科学部門と口腔腫瘍学部門がそれぞれの高い専門性をもった上で、臨床・教育・研究に密接な協力体制を敷いています。研究にはそれぞれが日常診療に抱える疑問点や改善点を解決するために、基礎研究・臨床研究、トランスレーショナルリサーチを行っています。基礎研究では他科や他施設との共同研究を進めております。臨床研究では、デジタルを駆使した最先端かつ安全な治療戦略や術後のQOLを考慮した再建・再生法の構築などを中心に行っております。その他、新規骨補填材の開発や神経痛機序の解明などにも積極的に取り組んでいます。今後も患者に寄り添った治療の提供に直結するような研究を継続してまいります。



行事予定

＜広報委員長 柴田 陽＞

- 4月 4日(土) 大学院春季入学式
- 4月 10日(金) 昭和医科大学入学式
- 4月 11日(土) 昭和医科大学入寮式

編集後記

＜口腔生理学講座 中山 希世美＞

日ごとに春の訪れを感じる季節となりました。新年度から新しい環境に身を置かれる皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。年度末のお忙しい中、ご寄稿くださいました先生方に感謝申し上げます。

昭和医科大学 歯学部だより 通算239号 2026年3月発行
 発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽
 2・3月号編集委員：中山 希世美（広報委員会）
 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000
 ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp